

第36回日本小児科医会総会フォーラム in KOBEのご案内（第2報）

第36回日本小児科医会総会フォーラム in KOBE 会頭

兵庫県小児科医会 名誉会長

藤田 位

第36回日本小児科医会総会フォーラムは、2025年（令和7年）に兵庫県小児科医会が兵庫県神戸市の神戸国際会議場で開催させていただきます。

今回の総会フォーラムのテーマは「What is biopsychosocial well-being?～こどもまんなかをめざして～」です。今、子どもの周りでは、biopsychosocial well-being (BPSwell-being) の必要性が高まってきています。well-beingとは生涯にわたり、身体的、心理的・精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的・経済的に満たされている状態にあることです。こどもまんなか社会では、全ての子どもはBPSwell-beingです。こどもまんなか社会を作るためには、1) 子どもの権利と尊厳を守ること、2) 遊びを通して子どものwell-beingを高めること、3) 子どもの誕生前から切れ目なく育ちを考えること、4) 保護者のwell-beingを支援すること、5) 子どもの育ちを支える環境や社会の厚みを増すこと等の視点が必要です。私たちはそんな観点から、基調講演を国立成育医療研究センター理事長の五十嵐隆先生にお願いし、シンポジウムとして「かぜ診療」、「思春期」、「児童虐待の防止と支援」、「災害時における医療的ケア児支援」、「乳幼児健診」におけるBPSwell-beingを多くの小児科医と共に考えていただけるように企画しました。

また特別講演として、1. スタンフォード大学医学部教授西野精治先生に睡眠について、2. 参議院議員の自見はなこ先生に最近の母子保健の動向についてお話をいただきます。その他、医療機関向け虐待対応啓発プログラムBEAMS2や、教育講演11講座、市民公開講座も用意いたしております。

会期は2025年（令和7年）6月14日（土）、15日（日）で、開催形式は今回は現地開催が主です。オンデマンドも考えておりますが、現地で大いに語り合ってくださいことを期待しております。多くの皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

メインテーマ「What is biopsychosocial well-being?～こどもまんなかをめざして～」

開催日時：2025年6月14日（土）、15日（日）

会場：神戸国際会議場 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1

ホームページ：<https://web.apollon.nta.co.jp/jpa2025/>



【一般演題募集要項】

一般演題の発表は口演形式でのみ行います。演者の先生には現地会場でのご発表を予定しております。

各地区小児科医会・日本小児科医会各委員会からの報告、私の診療の工夫、病院小児科からのピットフォールの症例提示、外来で経験した注意すべき疾患など、小児医療に関するものであればテーマは自由です。また、子どもたちの well-being を目指した診療の紹介などがありましたら是非お願いいたします。

申込要項：総会フォーラムホームページの「一般演題募集」ページにてご確認ください。なお、応募多数の場合はプログラム委員会で採否を決定させていただきますので何卒ご了承ください。

口演日時：2025年6月14日（土）午後

口演時間：発表6分、質問3分の予定

【プログラム概要（2024年7月31日現在）】

基調講演：国立成育医療研究センター理事長 五十嵐 隆先生

特別講演

1. スタンフォード大学医学部精神科教授
同大学睡眠生体リズム研究所（SCN ラボ）所長 西野精治先生
2. 参議院議員 自見はなこ先生

シンポジウム

1. かぜ診療の本質をBPSモデルで考える
2. 思春期のBPS well-beingのために
3. 児童虐待をBPSモデルで捉え、防止と支援をする
4. 災害時における医療的ケア児のBPS well-beingを守るために
5. クリニックで行うBPSな乳幼児健診とは

日本小児科医会委員会企画

1. 子どもとメディア委員会
デジタル時代の子育て・子育て ～本当に大丈夫？～（仮題）
2. 公衆衛生委員会
ワクチン不足はなぜ起きる～ワクチンの生産と流通を考える～（仮題）

教育講演（11講演を予定）

医療機関向け虐待対応啓発プログラム BEAMS ステージ 2

市民公開講座

1. 神戸北野ホテル総支配人・総料理長 山口 浩氏
2. 文教大学 教育学部教授 成田奈緒子先生